



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月1日

上場会社名 クリエイトメディック株式会社
 コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 佐藤 正浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括部長 (氏名) 橋井 敦
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-943-2611

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,113	4.9	△24	—	△6	—	△53	—
26年12月期第1四半期	2,015	△0.6	△9	—	△14	—	38	△43.9

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △28百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△5.52	—
26年12月期第1四半期	4.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	17,232	13,050	75.7	1,357.12
26年12月期	17,906	12,897	72.0	1,341.24

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 13,050百万円 26年12月期 12,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	16.00	—	19.00	35.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	16.00	—	19.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,924	6.2	329	△14.1	335	△9.2	236	△14.3	24.54
通期	10,445	5.1	850	8.4	861	△14.1	569	16.1	59.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	9,664,327 株	26年12月期	9,664,327 株
27年12月期1Q	48,213 株	26年12月期	48,213 株
27年12月期1Q	9,616,114 株	26年12月期1Q	9,616,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価の上昇や円安の継続などにより企業収益が緩やかな回復基調で推移いたしました。

医療機器業界におきましては、政府の成長戦略を背景に、慢性期・在宅医療分野など一部で需要拡大も見込まれますが、公道価格の改定や医療機関の共同購入による単価抑制圧力もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、国内では慢性期医療分野の販売拡大と新規OEMの獲得に引き続き注力したほか、中国や欧州を中心とした海外販売の強化に努めてまいりました。

これらの活動により、売上高につきましては、国内の自社販売が不採算品目の見直しにより伸び悩みましたが、OEM販売が生産調整により一時的に増加したほか、海外販売が為替の影響もあり順調に増加したことから、全体も前年同期を上回る結果となりました。一方、利益面につきましては、海外工場での生産集約などにより売上原価率が改善したものの、人件費や研究開発費等の販売管理費が前年同期比で増加したことから営業利益、経常利益とも厳しい結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,113百万円（前年同期比4.9%増）、営業損失24百万円（前年同期は営業損失9百万円）、経常損失6百万円（前年同期は経常損失14百万円）、四半期純損失53百万円（前年同期は四半期純利益38百万円）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

< 自社販売 >

自社販売は、泌尿器系のフォーリートレイキットや、消化器系のイレウスチューブ、外科系の内視鏡下手術関連製品が堅調に推移いたしました。前期に血管系の一部製品で不採算品目の見直しをおこなったことにより、売上高1,314百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、血管造影関連製品の生産調整による一時的な増加や昨年末の新規OEM製品の立ち上げなどにより大きく伸長し、売上高377百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

< 海外販売 >

海外販売は、欧州市場はほぼ前年並みで推移いたしました。中国市場においては、泌尿器系や消化器系を中心に引き続き堅調に推移いたしました。また円安の影響もあり、売上高422百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して674百万円減少し17,232百万円となりました。これは、現金及び預金の減少148百万円、受取手形及び売掛金の減少526百万円が主な要因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して827百万円減少し4,181百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少116百万円、一年内返済予定の長期借入金の減少200百万円、退職給付に係る負債の減少560百万円が主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して152百万円増加し13,050百万円となりました。これは、利益剰余金の増加128百万円、その他有価証券評価差額金の増加15百万円、為替換算調整勘定の増加9百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月12日の「平成26年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が565,567千円減少し、利益剰余金が364,338千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,738千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,362,806	4,214,699
受取手形及び売掛金	3,223,347	2,696,350
電子記録債権	354,144	424,903
有価証券	500,261	600,248
商品及び製品	1,487,033	1,545,391
仕掛品	574,382	666,925
原材料及び貯蔵品	588,558	578,092
繰延税金資産	112,733	185,960
その他	219,358	213,499
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	11,421,626	11,125,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,217,034	2,185,383
機械装置及び運搬具(純額)	799,947	777,266
土地	1,982,606	1,982,606
リース資産(純額)	5,797	1,757
建設仮勘定	14,374	10,096
その他(純額)	159,703	170,565
有形固定資産合計	5,179,463	5,127,675
無形固定資産		
借地権	194,733	193,231
その他	24,192	23,878
無形固定資産合計	218,925	217,110
投資その他の資産		
投資有価証券	634,161	551,674
繰延税金資産	375,477	137,211
その他	77,080	73,338
投資その他の資産合計	1,086,719	762,225
固定資産合計	6,485,108	6,107,010
資産合計	17,906,735	17,232,083

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	864,978	748,887
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	441,220	240,540
リース債務	6,105	1,854
未払法人税等	56,056	46,965
賞与引当金	30,389	112,349
役員賞与引当金	12,900	2,642
その他	695,583	646,270
流動負債合計	3,007,233	2,699,509
固定負債		
長期借入金	603,050	741,215
役員退職慰労引当金	181,388	84,133
退職給付に係る負債	1,205,283	644,738
資産除去債務	3,114	3,131
長期未払金	9,175	9,175
固定負債合計	2,002,012	1,482,394
負債合計	5,009,245	4,181,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,887,160	9,015,678
自己株式	△34,931	△34,931
株主資本合計	11,799,986	11,928,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,300	95,149
為替換算調整勘定	1,048,803	1,058,139
退職給付に係る調整累計額	△30,601	△31,615
その他の包括利益累計額合計	1,097,502	1,121,673
純資産合計	12,897,489	13,050,178
負債純資産合計	17,906,735	17,232,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	2,015,101	2,113,651
売上原価	1,180,715	1,222,820
売上総利益	834,386	890,831
販売費及び一般管理費	844,290	915,340
営業損失(△)	△9,904	△24,508
営業外収益		
受取利息	2,334	4,625
保険配当金	1,854	2,152
為替差益	—	9,658
その他	6,096	5,377
営業外収益合計	10,285	21,814
営業外費用		
支払利息	3,331	1,981
為替差損	10,125	—
金利スワップ評価損	—	1,319
その他	1,337	660
営業外費用合計	14,794	3,961
経常損失(△)	△14,413	△6,655
特別損失		
役員退職慰労金	—	27,573
特別損失合計	—	27,573
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,413	△34,229
法人税、住民税及び事業税	45,162	58,406
法人税等調整額	△98,124	△39,521
法人税等合計	△52,962	18,884
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	38,548	△53,113
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,548	△53,113

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	38,548	△53,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,217	15,849
為替換算調整勘定	△141,770	9,335
退職給付に係る調整額	—	△1,014
その他の包括利益合計	△156,987	24,170
四半期包括利益	△118,438	△28,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,438	△28,943
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。